

NPO法人 かながわ外国人すまいサポートセンター



ニュースレター No.40

“すまセン”の窓口ではスタッフが10ヶ国語で相談を受け付けています。
アパート探しの内見や契約後の問題発生など必要に応じて通訳を派遣します。
お気軽にお尋ねください。

理事長あいさつ

白や紫、薄いピンクなどが互いに揺らめきあいながら咲く桔梗の姿に心惹かれます。酷暑を超え夏の終わりまで私たちの心を和ませてくれるでしょう。

すまセンには、国籍や文化、言葉の壁を超え多くの人たちから相談が持ち込まれます。すまい、生活、仕事、債務、子供のこと、DV、相続、障がい者や高齢者に関わることなど、複合的かつ深刻な内容の相談が多く持ち込まれます。スタッフたちが知恵と力を寄せ合い、相談者の話を丁寧に聞き、課題を整理します。スタッフたちだけで解決できそうにないときには、理事や関係機関などの力を借りるようにしています。そこには多くの不動産業者、行政、支援団体との連携が存在します。

2023年度の相談件数は約2900件でした。異なる言葉や生活習慣を背景にする外国人ばかりではなく、その中には困難を抱える日本人の姿もあります。

外国人の命と権利を守る政策、法、制度もない中、現在永住資格者たちの権利をはく奪する法が制定されようとしており、外国人の間には不安が広がっています。また、コロナ収束から一年経った今も、以前の収入や生活にすら戻れない人たちが多く、公営住宅入居希望者が増え続けています。労働人口が減り、外国人労働者たちが急増していること、全ての人たちの老後までの生活をどう支えるのかということ、これらは今後のすまセンの活動ばかりか、この国の在り方にも大いに関わってきます。国の外国人政策の変更がなされない中でも、さまざまな人たちが互いに認め合い、支えあい、当たり前で暮らせるそんな地域をこれからも目指してゆきたいと思います。



かながわ外国人すまいサポートセンター理事長 裴 安

すまセンの活動がさらに評価されました

・神奈川新聞 厚生文化事業団 活動奨励支援金をいただきました。この支援金は、公的な取り組みや社会的な認知が求められているのに、手が差し伸べられていない分野での先駆的な市民活動を対象にした「活動支援奨励金」の支給を行なっているものです。

・かながわボランティア活動推進基金 21 ボランティア活動奨励賞を受賞しました。この賞は他のボランティア団体のモデルとなり、地域社会への貢献度が高く、今後継続発展が期待できる活動に取り組んでいる団体に贈られるものです。

このようにすまセンの活動が注目されています。これからも頑張っていきたいと思います。



すまセン出会いインタビュー

—チェリッシュ(株)編—

川崎市にあるチェリッシュ(株)に伺いました。米田社長は、外国人すまいサポート店(*)登録を機に2018年度から2021年度まで理事として、現在は会員としてすまセンの活動を支えてくださっています。今日は開業当時から現在までの川崎の移り変わりについてお聞きしました。

・チェリッシュ(株)の開業についてお聞かせください。

→私たちチェリッシュ(株)は平成3年に開業しました。当初は競売物件を買上げ、それをリフォームして販売していました。それから賃貸業もするようになり、近くに日進町のドヤ街もあることから自然と居住支援活動に携わるようになっていきました。当時は住宅確保要配慮者がこんなに注目されるとは思っていませんでした。

・30余年の歳月で街も随分と変わったと思いますが、どのように感じていますか？

→この辺りも本当に変わりました。特に2015年に起きた簡易宿泊所の火災をきっかけに街が一変しました。それまでは川崎市役所が簡易宿泊所を一棟ごと借上げ、入居支援をしていました。一棟丸ごと借上げる訳ですから、川崎市としても予算が随分かかっていたと思います。その火災以降は役所が宿泊者たちに就労支援や居住支援をしていくようになりました。生活保護も付いているので部屋も借りやすく、彼らは劣悪な環境からどんどん出ていきました。緊急連絡先に関しては、宿泊者同士でなったりして解決していたようです。

そしてここにコロナの流行が追い討ちをかけました。流行した季節に加え、共同風呂に共同トイレという悪条件が重なり、簡易宿泊所では多くの方が亡くなりました。こうして、ドヤ街の住人がいなくなりました。日進町もインバウンド急増の影響を受け、現在は簡易宿泊所もシェアハウスやゲストハウスに変わっていています。

また、川崎はたくさんの留学生が住んでいます。とにかく感じることは、外国人はお金がない人が多いということです。やっと物件が見つかったも、敷金や礼金がなかったりと、こちらも頭を抱える案件もあります。どうにか部屋を決めてあげたい！という思いから、仲介手数料を分割払いにすることもあります。

「居住支援はこれからますます社会で必要とされてくると思います。私たちもできる範囲でお役に立ちたいと考えています。」と笑顔で話してくださった米田社長がとても印象的でした。



※すまセンインタビューは、不動産店やさまざまな関係機関を訪れ、取材させていただく連載記事です。

*外国人すまいサポート店とは、神奈川県国際課に登録していただいている、外国人に民間賃貸住宅への入居を仲介して下さる不動産店です。

2024年度総会が開催されました

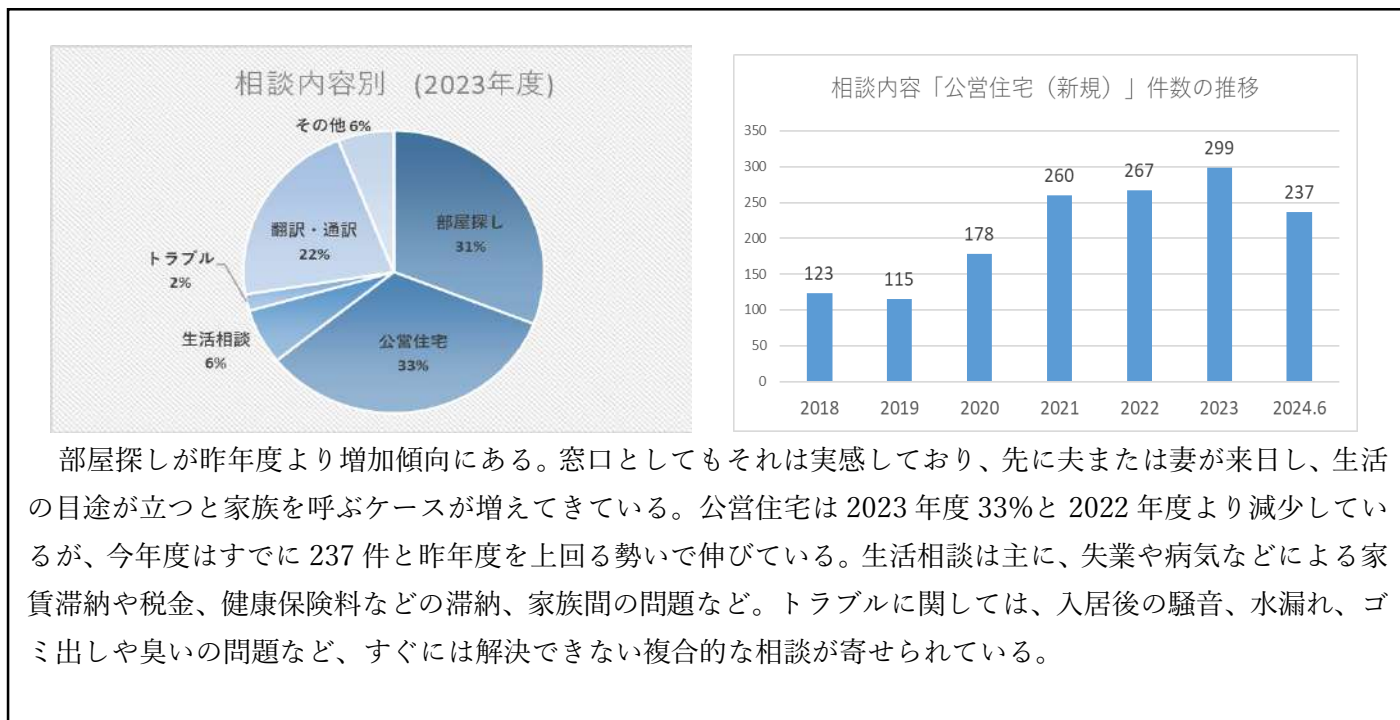
4月27日横浜YMCAのチャペルにて総会が開催されました。来賓の方々や会員79名が出席する中、2023年度事業報告と会計報告、2024年度事業計画案と予算案が無事承認されました。

また、4年ぶりに開かれた懇親会では、すまセンスタッフの手料理に囲まれながら、窓口スタッフと理事や会員の皆さんが有意義に交流することができました。皆さんからはすまセンへ感嘆と激励のお言葉をたくさんいただきました。これを励みに理事及びスタッフ一同、今年度も活動を展開していきたいと思っております。

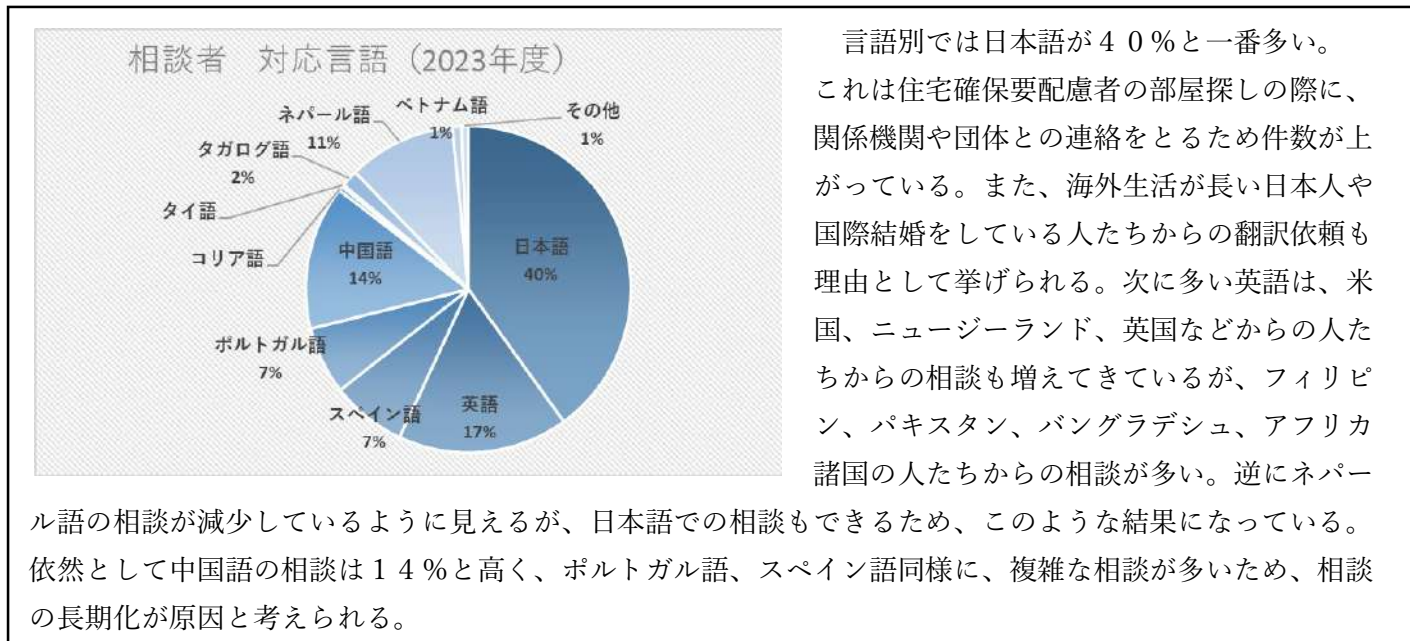
◆相談件数

	2023年度	2024年4月	5月	6月	4・5・6月 合計
新規	897	214	134	56	404
継続	1973	309	105	63	477
合計	2870	523	239	119	881

相談の内訳 ～相談内容～



相談の内訳 ～言語別～



★2024年度 会費を納めてくださった方々★

(順不同、敬称略)

<団体>

公益財団法人 大和市国際化協会

<法人>

株式会社 おかだハウジング 豊一管財株式会社
 徳永リアルエステート(株) ジャパンハウジング(株)
 有限会社 第一産業 株式会社 杉浦商事 株式会社 大蔵
 株式会社 イチイ 株式会社 石川商事 株式会社 昌栄
 有限会社 エスク エス・ケーホーム(株) 徳増不動産株式会社
 株式会社 秋津不動産 オーキッド株式会社
 株式会社 川崎中央プランナー 有限会社 寿不動産
 株式会社 チェリッシュ (有) セントラルホームズ
 株式会社 クレア 株式会社 アイホーム 株式会社 一和国際
 居住支援法人 川崎ロイヤル株式会社 株式会社 トータルホーム
 (有) 松中一級建築士事務所 (有) ラディアン・ワークス
 特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
 神奈川青年司法書士協議会

<個人 正会員>

竹口 秀夫 水田 秀子 西村 明夫
 星野 毅 三浦 保之 松本アルベルト
 安松 肇 山田 貴夫 木下 正和
 邊 佳枝 金井 信高 稲村 厚
 長田 誠 月出 正弘 鳥山 洋
 婁 安 柳 晴実 柳原 絵里子
 森川 洋子 阿部 孝子 高村 文子
 孔 琦 計屋 珠江 天野 萌
 関根 雄二(新) 小山田 滋(新)
 崔 一 煥(新) 崔 紗 華(新)

<個人 賛助会員>

山成 健治 小儀 晃 野村 武夫
 今泉 好夫 高原 晶子 明星 圭介
 ファム・ルー・アンジー 佐々木 利和
 大鹿 康廣(新) 丸谷 士都子(新)
 清水 雅恵 島貫 エリアナ テルミ
 城間 クリスチーナ さゆり

<法人・団体 賛助会員>

有限会社 東郊住宅社

*2024年6月末現在、漏れがある場合は事務局までご一報ください。

翻訳・通訳業務

◆文書の翻訳を有料で行います

✦翻訳料金・納期・支払い方法、対応可能な翻訳文書については、
 翻訳通訳担当(火曜日・金曜日)にお問い合わせください。

《対応可能言語》

中国語・インドネシア語・ポルトガル語
 タガログ語・韓国朝鮮語・ネパール語
 ベトナム語・英語・スペイン語・タイ語
 カンボジア語・ラオス語など

《翻訳可能文書》

戸籍謄本・改製原戸籍・住民票・出生届
 結婚届・結婚受理証明書・出生受理証明書
 海外機関発行の独身証明書・出生証明書
 在職証明書・納税証明書・課税証明書など

◆一般通訳を有料で行います

✦役所・年金事務所・不動産店・弁護士司法書士事務所・福祉事務所等
 ✦詳細については、翻訳通訳担当(火曜日・金曜日)にお問い合わせください。

アクセス



JR根岸線 関内駅南口より
 徒歩 10分
 市営地下鉄ブルーライン 関内駅
 出口1番より徒歩 5分
 みなとみらい線 日本大通り駅
 より徒歩 5分

*横浜スタジアム向かい

ホームページ
 ぜひご覧ください!



編集後記

降りしきる雨の中、一枚の作品に出会った。湿った肌が一瞬でザラつくようなそんな感覚を覚えた。松本真理子作「厩畜場からの眺め2」という燃ゆるような赤い油彩。「人間と呼ばれているもの」と「動物と呼ばれているもの」を隔てないという新しい思想的深淵に踏み込んだ個展の一枚だった。「人間と呼ばれているもの」もまた狭い檻に囲われた動物であると考えた時、この絵がこの色がどのように見えてくるのかを私たちに問いかけているような気がした。

(K.P)

〒231-8458 横浜市中区常盤町1-7
 横浜 YMCA 2階
 Tel: (045)228-1752
 Fax: (045)228-1768
 URL: <http://www.sumasen.com/>
 Mail: sumai.sc@sumasen.com